

オレンジタウン構想の次期アクションプラン策定

■債務負担行為……1,497万円

「あいち健康の森」(大府市、東浦町)とその周辺地域が一体となり、認知症に理解の深いまちづくり「オレンジタウン構想」を進めてきました。その取り組みを全県へ波及させるため、次期アクションプランの策定に向けた調査・検討を行います。

- 次期アクションプラン策定調査
- 若年性認知症実態調査

CSF(豚コレラ)のワクチン接種と早期出荷対策

■事業費……2億5,876万円

(債務負担行為…1,277万円)

豚コレラを、今後はCSF(クラシカル・スワイン・フィバー)と呼びます。

豊田市で確認された16例目の防疫対策費や、養豚農家の経営支援費のほか、国の特定家畜伝染病防疫指針の改定により、飼養豚に対するワクチン接種経費や、野生イノシシの移動防止柵設置を行います。

あいち航空ミュージアムに貸切制度を導入

あいち航空ミュージアムを貸し切り、パーティーやイベントなど、通常の営業日と同様に展示案内スタッフを配置し、様々な用途で利用して頂くため、使用料等の条例の一部改正を行いました。閉館後、休館日だけでなく、平日の昼間も貸し切りが可能です。



▲時計メーカーのIWCシルバースピットファイアが限定展示された航空ミュージアム

低額宿泊所の設備・運営基準を定める条例の制定や、「あいち航空ミュージアム」の専用利用に係る使用料を定めるため、愛知県名古屋飛行場条例の一部改正などを行いました。また、私学助成拡充を求める請願の採択や、新政あいちから提案した教職員の定数改善や、子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書など、6件の意見書を採択しました。

12月議会報告

補正予算26億余円はじめ31議案を可決

教職員定数改善や私学助成拡充請願など採択

愛知県12月定例議会は、12月3日から20日までの会期で行われ、開会日の冒頭で、昨年まで16年連続の交通死者事故者数が全国ワーストという危機的状況を打開するため、「交通死亡事故の根絶」についての決議が決議され、年末に向け県民と一丸となって交通死亡事故根絶に取り組む決議が採択されました。

補正予算では、総額26億1556万円の予算と条例制定・改正、工事請負契約締結など31議案が

提案され、可決成立しました。

主な補正予算には、認知症施策の取り組みの充実・強化や、「あいちオレンジタウン構想」の取り組みを全県へ波及させるため、次期アクションプランの策定に向けた調査・検討に係る経費の次年度への債務負担行為を設定する他、CSF(豚コレラ)緊急対策として、飼養豚へのワクチン接種や早期出荷促進対策に係る経費が含まれています。補正予算以外の議案には、無料



全国技能五輪
アビリンピック大会

愛知県選手団が15年連続最優秀技能選手団賞

昨年11月15日から18日まで、愛知県国際展示場を始め、県内4市9会場で開催された「あいち技能五輪・アビリンピック2019大会」において、愛知県選手団は技能五輪大会で金賞12名を始め93名が入賞し、15年連続で最優秀技能選手団賞を受賞しました。

また、同時開催された障がいのある方の全国アビリンピックにおいても、金賞4名を始め15名が入賞し、昨年に引き続きメダル獲得数全国1位に輝く素晴らしい成績を収めました。また、今回新たに創設された「女性の活躍賞」も愛知県選手団が受賞しました。

本県で今年も開催される大会での、県選手団の活躍が期待されます。



▲15年連続で最優秀技能選手団賞を受賞した愛知県選手団=写真は結団式